

歯科材料 7 歯科用ワックス
一般医療機器 歯科用ユーティリティワックス 70896000

ディスクロージングワックス

【禁忌・禁止】

本材あるいは類似の成分に対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

プラスチックの容器に入った、白色のクリーム状のワックス

原材料：パラフィンワックス、ワセリン、ココナツオイル、その他

【使用目的又は効果】

本品は、義歯の調整に用いる。

【使用方法等】

- 新しい義歯への適用
 - 新しい義歯を装着してすぐに、ベースプレートワックス(別売)を小臼歯と大臼歯に置き、患者に強い力で咬合するように指示し、10 分間その状態を保持させて、粘膜面上に義歯を安定させる。
 - ディスクロージングワックスとカー社ユーティリティワックス・レッド(別売)を 7:1 で混合して作ったピンク色ワックスを、下顎義歯の咬合面に塗布する。ピンク色にすると、視覚的に咬合調整がより容易になる。
 - 上顎が唾液で湿っていること確認し、ゆっくり数回咬合させ、患者に、咬合が安定すると感じるポイントで咬合を閉じさせる。
 - 下顎義歯を取り出し、ディスクロージングワックスが無くなっている部分をリリースする。
 - この手順を数回繰り返し、上顎・下顎とも接触部位が全体にまんべんなく散らばっている状態にする。
 - 次に、軟化させたディスクロージングワックスを、スパチュラやブラシを用いてリリースが必要と思われる部位（下顎犬歯の舌側部分や上顎結節部分の頬側 etc.）に塗布する。
 - 患者に、適切な圧力で咬合するように指示する。義歯を取り出し、大き目のラウンドバーでディスクロージングワックスが無くなっている部分をリリースする。
 - この段階で、はじめて数時間もしくは翌日まで義歯を装着できる状態になる。
 - 次に、下顎義歯の支持面全体にディスクロージングワックスを塗布し、患者に強く咬合させる。
 - これでほとんどの患者で、粘膜の支持面の均一性、または均一性が足りない部分が露出する。露出しづらい患者の場合は、両側咬合面にベースプレートワックスを置いてから強く咬合するように指示し、数回繰り返す。毎回、大き目のラウンドバーで圧力過剰部分をリリースし、均一性が望む状態になるようにする。
 - 上顎義歯に関して支持面全体にディスクロージングワックスを塗布して同様な手順を行う事はまれで、上顎全部床義歯は前方ヘシフトする傾向が有り、支持面全体をカバーさせると正しい情報が得られなくなるので、上顎全部床義歯に関しては、小さいエリアの部分毎で行う。

- よりソフトなワックスが適切と思われる場合は、ワセリンを 1/4 ほど混合させたものを作成する。ディスクロージングワックスとワセリンを溶かし、固まるまで数分毎に攪拌する。
- 義歯が完全に装着できるようになった時点で、再度、作成したピンク色ディスクロージングワックスを下顎義歯咬合面に塗布し、接触部位を検出・研削して、歯牙全部が適切な機能接触状態になるように調整する。
- 完全な、バランスの取れた咬合を得るために、上顎の咬頭を残すようにして、下顎側で調整する。
- より効果的な咀嚼を得るために、上顎対合歯を唾液でぬらしたり、人工歯の場合はマイクロフィルム等を塗布する。
- すべての調整が終わった後、ぬるま湯とせっけんと使用して、ブラシでディスクロージングワックスを落とす。調整した箇所は、装着前に研磨する。

2. 再調整

前記の調整は、3 ヶ月、6 ヶ月あるいは 1 年のインターバルで行い、研削・研磨で調整できるのか、またリベースをおこなうのか、新しい義歯を作成するのかを判断する。

【使用上の注意】

【重要な基本的注意】

- 本材の使用により発疹などの過敏症状が現れた患者には、使用を中止し、医師の診断を受けさせること。
- 本材は可燃性であるので、使用の際、火傷をしないように注意すること。

【保管方法及び有効期間等】

【保管方法】

- 高温となる場所（暖房器具の近く、直射日光のあたる場所など）に放置しないこと。
- 25℃以下の場所で保管すること。
- 使用及び保管場所には、消火装置を備えること。
- 火気厳禁の場所に保管し、1つの保管庫に大量に保管しないこと。

【有効期間】

- 36 ヶ月 [自己認証（製造元データ）による]
使用期限は、包装に記載。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者氏名：カボデンタルシステムズ株式会社
連絡先：03-6866-7272
製造業者：スポファデンタル (SpofaDental a.s.)
国名：チェコ共和国 (Czech Republic)